

第7回福井県高等学校教育問題協議会

就学・就労形態等に応じた
定時制・通信制課程の在り方について

<目 次>

- 1 第6回会議における意見・提案要旨 P 1
- 2 定時制課程の本県の就学体制と他県の
事例に見られる体制 P 6
- 3 近県の県立定時制・通信制高校の設置事例 P 8

1 第6回会議における意見・提案要旨

論点 1

生徒の入学動機や生活状況の多様化に対応するために、就学形態はどうあるべきか。

【現状と課題】

- 本県の定時制高校における昼間二部制は、週ごとに就労と就学を午前・午後で交代する体制をとっている(P6参照)が、本来こうした二部制を必要とした企業がほとんどなくなったため、現在は機能しておらず、生徒の就労に支障を来している。
- 定時制に通う生徒の就業率は約5割、通信制においては約1割と低く、また就業形態はほとんどがアルバイトであり、本来の「働きながら学ぼうとする青少年への高校教育の保障の場」という役割が変化。
- 通信制は、全日制や定時制からの異動の受け皿(転入・編入)としての役割も果たしており、平成16～18年度においては、毎年70～90人の生徒が通信制に移動。

【委員からの意見・提案】

<昼間二部制の見直しについて>

- 昔は繊維産業に従事する方の就業形態が二部制になっていて、二部制を維持する意味があったと思うが、企業形態や地場産業の変化が定時制の在り方にも影を落としてきており、二部制の見直しは必要であろう。
- 20年ぐらい前と比較すると、機屋さんの数も1割程度に減少し、しかも昼夜交代で勤務する若者も少ない。そういう時代において、こういう定時制が現在もまだ残っているということが、むしろ疑問である。今の時代、県内のニーズにあった体制に組み直すべき。
- 全国の状況を見ると、定時制の就学体制は、平成12、13年あたりから、二部制あるいは夜を入れた三部制、単位制、二学期制の導入という流れにある。
- 昼間二部制を固定する場合、例えば、1日8時限とすると、1、2と7、8を必修教科中心に同じ時間割にして、3、4、5、6は理科・社会や芸術の選択科目中心とすることで、生徒の選択幅を増やすことができる(P7参照)。

<3 修制・単位制について>

- 保護者・生徒自身は、高等学校を3年で卒業するという希望が多いと思う。また、健康的に勉強しようとする、やはり昼間で生徒を育てていくということが大切。働きながら通学する生徒もいるので、夜間も必要だと思うが、是非お昼に勉強して、3年で卒業するという環境を作ってほしい。
- 学年制の二部制で、片方の部にしか在籍できず他の部の授業は取ることができないとなると、3年間の卒業は難しい状況になる。特設の時間を作るなどの工夫が必要。
- 単位制にしていけば、もっと弾力的に、しかも3年で卒業できる。また、中途退学等の事情で定通制の高校に入ってきた生徒が前の学校で修得した単位も有効に生かすことができる。
- 今までの福井県の定時制教育は、あまりにも時代の流れを見ずにきたような気がする。定時制教育においては、武生高校のような単位制がどの地域においてもよいのではないかな。
- 通信の単位制は、昔は十分機能していたが、最近は自主性が少ない生徒がおり、自由度が大きすぎるために脱落につながるということがある。道守の通信の単位制では、授業を90分単位でやっているが、90分もなかなかもたない生徒が増えてきたようにも思う。通信制の単位制については、存続すべきか、定時制の単位制に置き換えるべきかを検討する時期ではないかと思う。
- 定時制を卒業した生徒から、「単位制に早くしてほしい。今のアルバイトも自由にできるし、単位でこれだけとれたという目標も持てる。」という話を聞いた。学生のやる気をできるだけ引き出して、少しでもドロップアウトしていく人間を減らすためには、単位制でもって、能力のある人間、やる気のある人間がその中で進めるような道筋をつけるべき。

<二学期制について>

- 例年、5～6月頃に高校の中退者が最も多くなる。二学期制の導入により、そうした子どもたちは4月を待たずに、10月から高校に入れるようになる。

論点2

生徒や社会のニーズの多様化に対応するためには、教育体制はどうあるべきか。

【現状と課題】

- 少子化により、全日制高校の生徒数が減少する中、定通制高校の生徒数はほぼ横ばい。
- 通信制の生徒の年齢層は、15歳から40歳代以上まで、幅広く分布しているが、入学してもレポート提出など何もしない生徒も約2割程度いる。
- 卒業後の状況を見ると、大学等への進学が増え、無業者の割合も減少してきている一方、離職率(就職後5ヶ月以内に離職した率)が全日制と比べて高くなっている(平成19年8月現在の離職率:全日制8.5% 定時制18.3%)。
- 現在、不登校等の問題を抱えた生徒たちが多くなっている(県内定通制高校に通う生徒の約4～5割程度が不登校経験者)。

【委員からの意見・提案】

<教育体制について>

- 定通制の生徒のニーズは非常に多様化している。その多様なニーズ・生徒自身のレベルに応じて選ぶことができるような選択科目の置き方が非常に大事。ただ、無制限には選べないので、ある程度の枠が必要。学年制のように厳しいものよりも単位制が適切。ある適度の科目群、指導群を作っていくことが現実的であろう。
- 定時制においては、不登校経験者やいじめの被害を受けたお子さんが非常に多く、そうした子どもだからこそ、人間関係の作り方といった観点から、ホームルームの機能が大事であり、選択できる時間帯にあわせて、クラスで一緒に学ぶ時間帯を作る必要がある。
- 生涯学習の機能を持たせて、地域住民の方々が履修生・聴講生として参加するなど、多様な人々と学ぶという時間帯も考えたかどうか。
- 富山県のように、定通制に生涯教育を入れるということについては、いろんな社会人と一緒に学ぶことで、少し変わることがあるのでは思う。
- 道守高校には商業科があるが、後の学校は普通科のみ。生徒たちはもっといろんな希望を持っているのではないか。学科については、そういう子どもたちの能力、何かいいところを引き出してやるということを配慮した学科というのを考えたかどうか。

- 生徒ニーズに対応し、いろんなことを選択できるようにするという点については、中学レベルの学力が付いていない方々が多いときには、生徒のよさを引き出すということは一般の高校、全日制よりも難しいのではないかな。

<カウンセリング体制等について>

- 全日制の普通科に行っていたが、いろんな問題があって不登校になったり、かなり優秀な子どもでも不登校になったけれども、定時制に入学し、大学へ進学して再起していくという場合もあると聞いている。そういう受け皿も必要なので、定通制は重要と思う。
- 専門のカウンセラーの方もいいが、やはり普段生徒と接している担任の先生なりがカウンセリングの能力を身に付けて子供たちの相談に乗り、指導に当たることが一番理想ではないかな。そのためには、先生方にカウンセリングの勉強をする機会を十二分に与えていく必要があると思うし、また、そういう能力を持った人たちを学校に配置していくといった配慮も必要ではないかな。
- 直接教えている先生方に、カウンセラーの能力を身に付けてもらうことは、簡単なものではないだろう。大変な負荷が先生にかかってくるのではないかな。
- カウンセリングについて、学校の先生が全てをまかなうことは無理だと思う。なぜカウンセリングの免許・専門学校があるのかというと、人の心の中に人が入っていくという部分と、勉強を教えるという部分とに根本的に違いがあるからではないかな。やはり、専門的なカウンセラーを配置して、きめ細かな体制を整えることが必要であると思う。
- 若狭町で、「若狭ものづくり美学舎」というものができ、中学校の時に不登校だった子どもたちを受け入れており、県内各地域の教員OBの方々に講師をお願いしている。定通制の相談体制についても、教員OBの活用を図れないかな。

<外国籍生徒への対応について>

- 日本には移民という制度がないので、あまり考えられていないが、実態は、どんどん増えている。これは県内の問題だけではなく、国が本格的に取り組むべきテーマだろうと思うが、日本語が話せない外国人教育をどうするかということは、避けて通れない問題であろう。
- 外国人の問題については、もう少し違った、大きなレベルの観点で、県なり、国なりで、もう少しタイアップしながら考える、取り組んでいく体制を作り上げることを考えていかなければならない。

論点3

教育効果を高めるためには、学校の規模、配置はどうあるべきか。

【現状と課題】

- 入学者選抜における定員の充足率は定時制全体で約40%。昼間部で高く、夜間部で低い。単位制をとる武生高昼間部の充足率は約90%。道守高通信制の充足率は、学年制が約27%、単位制が50%(いずれも、平成19年度)。
- 入学者選抜における定員充足率は低い、例年、転入・編入生があるため、学校によっては定員をオーバーする年度もある。
- 小規模校の場合、少人数によるきめ細やかな指導が可能である反面、集団による教育活動・コミュニケーション能力の育成等の観点からは教育効果を発揮しにくい。
- 生徒の通学等に支障をきたさないよう配慮しながら、望ましい配置について検討が必要。
- 通信制課程については、様々な年代からの学習ニーズに対応するため、通学に便利な場所への配置などについて検討が必要。

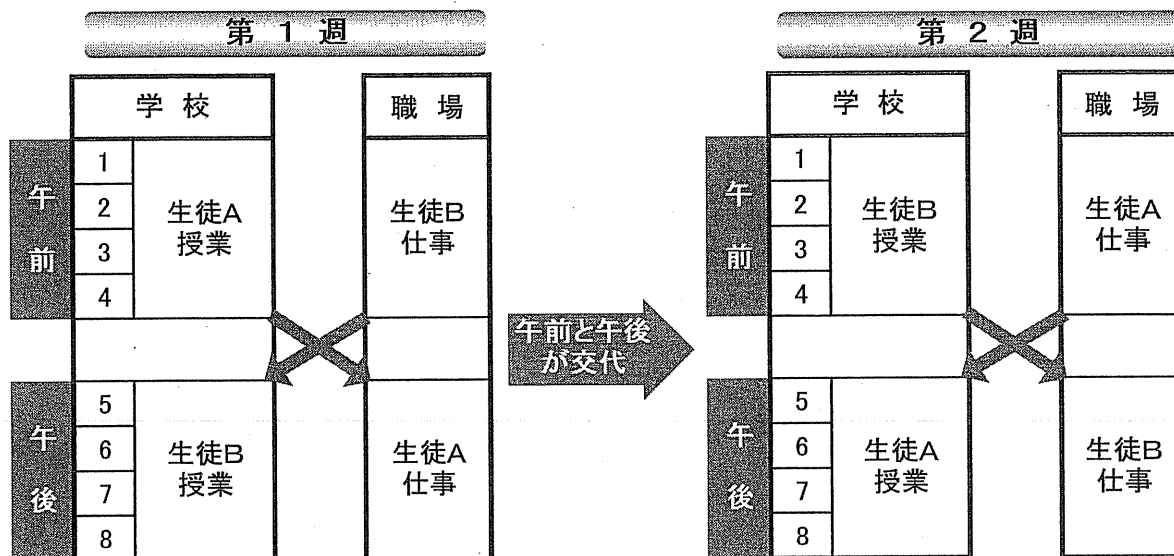
【委員からの意見・提案】

- 嶺南に夜間の定時制が2つあるが、時代の流れからいうと、夜間より昼間という形に変えていった方がいいのではないか。丹南地区は、夜間が2校重なっているで、1校でよいのではないと思う。
- 放送大学などはAOSSAに移った。あのように交通の便のいいところに、通信制をもってくるという考えも成り立つのではないか。
- 定時制については、県内には今のところ独立校が1つしかない。あらゆる問題にしっかり対応しようと思うと、県内においても、いくつかの独立校を中心にした定時制という形でやっていく必要があるのではないか。
- 夜間に通う生徒数は減少しているが、経済的な理由で全日制高校に通えないから定時制に通って、就職・アルバイトをしながら学力を付けようとしている生徒も確かにいると思われるため、夜間制をすべて廃止するのはいかがかと思う。

2 定時制課程の本県の就学体制と他県の事例に見られる体制

(1) 本県の体制

・昼間二部制＋学年制 ※大野高、丸岡高城東分校、道守高



【問題点】

- ・現体制を必要とする企業がなくなったため、体制が機能していない。
- ・週ごとに授業時間が入れ替わるため、生徒の就業に支障がある。
- ・就業していない生徒も多く、現体制をとるメリットが希薄である。

・単位制 ※武生高

午 後	1	昼 間	
	2		
	3		
	4		
	(1)	特設授業(昼間・夜間共通)	
	(2)		
夜 間	5	夜 間	
	6		
	7		
	8		

(2) 他県の事例に見られる体制

① 昼間二部制(固定)＋単位制

	時限	科目構成	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	
午前	1	必履修科目中心 (7, 8と同じ授業)	4単位時間			6単位時間	
	2						
	3	選択科目中心			6単位時間		
	4						
午後	5	選択科目中心		4単位時間			6単位時間
	6						
	7	必履修科目中心 (1, 2と同じ授業)		4単位時間			
	8						
	修了年限		4年	4年	3年	3年	

② 三部制＋単位制

	時限	午前部の生徒	午後部の生徒	夜間部の生徒
午前	1	授業時間帯	目的に応じ て受講	目的に応じて受講
	2			
	3			
	4			
午後	5	目的に応じて受講	授業時間帯	目的に応じて受講
	6			
	7			
	8			
夜間	9	目的に応じて受講	目的に応じ て受講	授業時間帯
	10			
	11			
	12			

- ・生活スタイルに合わせ、午前・午後・夜間いずれかの部に入学。
- ・3年修業など、目的に応じて他部の授業も受講可能。

3 近県の県立定時制・通信制高校の設置事例

刈谷東高等学校（愛知県刈谷市）

教育目標：「あせらず 気張らず 着実に」

単位制・2学期制をとり、定時制課程（昼間二部、夜間部）と通信制課程を設置。担任二人制、教育相談室の複数設置、スクールカウンセラーの配置、図書室での折り紙指導など、生徒の相談体制が充実。また、今年度から学習が遅れている生徒に対して個別指導を行う「学習サポートプログラム」を導入し、学習指導にも力を入れる。

1 開設学科

(1) 昼間二部：普通科

- ・時間割：Aコース 9:00～13:00(4限) Bコース 10:50～15:20(4限)
- ・生徒数：450人程度
 - 学級数 1年次～3年次：4学級、4年次：1学級
 - 学級規模 1年次40人、2年次37～8人、3年次30人、4年次20人

(2) 夜間部：機械科

- ・時間割：17:20～20:45(4限)
- ・通信制との併修により、3修可能。

(3) 通信制：普通科

- ・補充面接指導、高認試験の合格科目単位認定等により、3修可能。

<時間割>

昼間二部(普通科)							夜間部(機械科)					
9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
Aコース 9:00~13:00(1限~4限)				Bコース 10:50~15:20(1限~4限)							17:20~21:10 (1限~4限)	
○ 普通科は、2年次から6限授業。												

2 特 徴

(1) 学習指導

- ・2人担任制(両者とも正担任)をとり、生徒と接する時間を多く取っている。
- ・今年度から、学習が遅れている生徒に対して、個別に補習を行う「学習サポートプログラム」を実施。担任と教科担任の2人体制で行う。

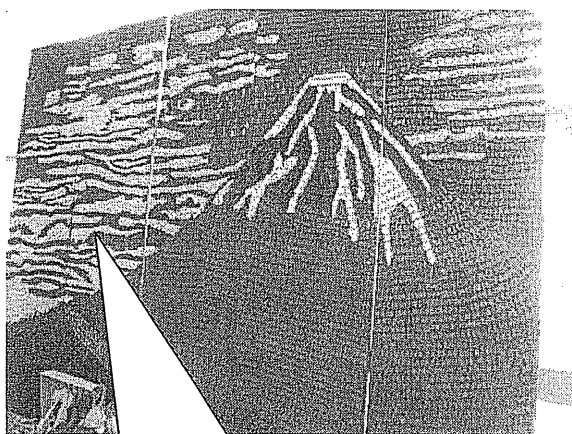
(2) 相談・カウンセリング体制

- ・教育相談室を2つ設置(①教員OB1名:9:00～15:00 ②教員2名)
- ・保健室、図書室においても、相談を受けている。
- ・スクールカウンセラーを配置(毎週金曜日、10:00～15:00)
- ・生徒は、自分の希望に応じて相談に行く。

(3) 特色ある取組み

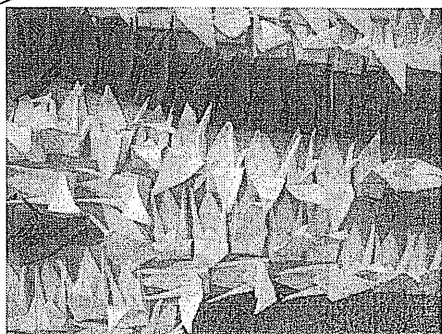
- ・部活動、学校行事が盛ん。特に演劇部は、愛知万博での公演や、文部大臣奨励賞を受賞するなど、評価が高い。地元マスコミにも取り上げられている。
- ・図書室では、生徒の希望に応じて「折り紙」を指導。生徒がみんなで作品をつくることにより、連帯感、達成感を感じてもらう。

<生徒の折り紙作品>



「富岳三十六景赤富士」

- ・約2万羽の折鶴で作成
- ・180×230cm
- ・40～50人の生徒が作成



金沢中央高等学校（石川県金沢市）

教育目標：「基本的学習習慣や望ましい職業観を身につけ、社会の変化に対応できる心身ともに健康な明るい生徒の育成」

単位制・2学期制をとり、昼間二部、夜間部を設置。平成16年度から総合学科に移行。

1 開設学科

(1) 昼間二部：総合学科

- ・時間割：午前部 8:40～12:20(4 限) 昼間部 10:30～14:45(4 限)
特設時間 14:55～16:35(2 限)
- ・生徒数：377 人(平成 20 年 5 月 1 日現在)
午前部：208 人 昼間部：169 人
- ・系 列
 - スタンダード系列：普通教科中心
 - クリエイティブ系列：芸術、生活文化中心
 - スキルアップ系列：会計・工業技術基礎等、資格取得や職業人になるための専門科目中心

(2) 夜間部：総合学科

- ・時間割：17:45～21:15(4 限)
- ・生徒数：35 人(平成 20 年 5 月 1 日現在)
- ・系 列
 - アクティブ系列：国語・数学・ファッションデザイン等、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を伸ばす科目中心。
 - スキルアップ系列：簿記・電気基礎等、資格取得や職業人になるための専門科目中心

<時間割>

昼間二部(総合)										夜間部(総合)			
9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
午前部 8:40～12:10 (1限～4限)								特設 時間 14:55 ～ 16:35					
				中間部 10:30～14:45 (1限～4限)									
										夜間制 17:45～21:15 (1限～4限)			

※他部の授業を受けることで、3修可能

2 特 徴

(1)教科指導

- ・前籍校での修得単位、実務代替、技能審査等による科目履修や増加単位を認めている。
- ・「特設時間」においては、「石川の伝統美」、「アート表現」等の特色ある授業を行う。

<特設時間の科目>

科目名	単位数
石川の伝統美	4
アート表現	2
自己実現ワークショップ	2
スポーツⅡ	4
ビジネスマナー	2
生活に生かす法律	2
国語の礎	2
数学の礎	2

(2)進路指導

- ・「キャリアガイダンス室」を設置し、生徒の進路や生き方に関する相談・アドバイス等を行う。

<具体的内容>

- 進路情報の提供
- 課題作文・小論文等の指導
- 科目登録、実務代替、技能連携、他部との併修に関するアドバイス 等

(3)カウンセリング

- ・保健課職員5人が担当(ホーム担当2人、養護教諭1人、保健課員2人)。
- ・比較的少人数の形で単位制のクラス運営が行われているため、すべてのホーム主任が学年団と連携してカウンセラーの役割を担う。

志貴野高等学校（富山県高岡市）

教育目標：「人間尊重の精神に基づき、校訓のもと、真理を追究するとともに社会の変化に主体的に対応できる力・自己教育力を培い、創造力と実践力に富み、誠実で豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の形成」

富山県西部唯一の定時制総合学校としていち早く単位制を導入したほか、近年は、県民の学習ニーズに対応して、積極的に生涯学習に取り組み、地域に根ざした教育活動を行っている。平成16年4月、JR 高岡駅前に完成した高岡駅前西再開発ビル「ウィング・ウィング高岡」内へ移転するとともに、県民生涯学習カレッジ高岡センターを併設し、「高岡地区生涯学習校」としてスタートを切る。

1 開設学科（※数字は、平成20年5月1日現在の生徒数）

(1) 普通科（Ⅰ部120人、夜間16人）

・基礎的な科目から専門科目まで、一般的な教養をもとに進学・就職いずれにも対応した幅広い科目選択が可能。

(2) 情報ビジネス科（Ⅰ部74人、Ⅱ部50人）

・ビジネスの諸活動やコンピュータに関する基礎科目から会計・情報両分野などの選択履修ができ、多様な進路設定が可能。

(3) 生活文化科（Ⅱ部58人）

・生活に直結する衣食住、保育、福祉科目および生活全般のデザイン分野などの選択履修ができ、多様な進路設定が可能。

(4) 国際教養科（夜間4人）

・外国の事情や異文化に関する科目、コミュニケーション能力を身につける英語以外の外国語の選択履修が可能。

<時間割>

昼間単位制(Ⅰ部・Ⅱ部)								夜間単位制				
9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
Ⅰ部 8:50~12:20(1限~4限) ・普通科 ・情報ビジネス科				Ⅱ部 10:30~14:55(3限~6限) ・情報ビジネス科 ・生活文化科				17:40~20:50 (1限~4限) ・普通科 ・国際教養科				
※Ⅰ・Ⅱ部は金曜日のみ1~5限まで授業実施								※夜間部は月曜日のみ1~5限まで授業実施				

2 特 徴

(1)学習指導

- ・シラバス(各教科の年間の学習計画・内容を記したもの)を配布し、担任との面接相談を通して、生徒一人ひとりの学習を支援。
- ・各種認定・検定試験やボランティア活動などを単位認定。また、通信教育の併修により、3修が可能。
- ・同じビル内にある「富山県民生涯学習カレッジ」と連携し、社会人を高校の授業に受け入れるなど、生涯学習に積極的に取り組む。

(2)相談・カウンセリング体制

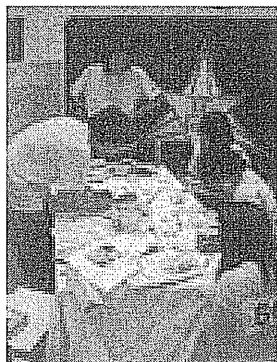
- ・スクールカウンセラーを配置。(週2回)
- ・キャリアガイダンス(職業指導)を日常的に展開。

(3)特色ある取組み

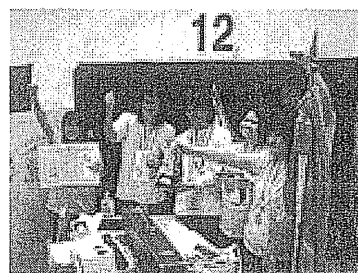
- ・生徒の興味・関心、長所を伸ばすことを念頭に、生徒の主体的な学習活動を促進しており、「まんが甲子園」、「全国商業高等学校スピーチコンテスト」等の全国規模の大会において、好成績を収めている。

<第16回 まんが甲子園 最優秀賞受賞(平成19年8月4～5日開催)>

作品の作成風景



優勝した生徒たち

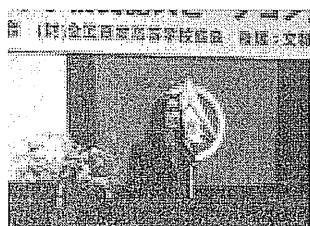


【まんが甲子園】

高知県・実行委員会等が主催する、高校生を対象とした全国規模の漫画コンクール。19年度は、約300校が応募。

<第24回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト

レシテーション部門最優秀賞(平成20年1月13日)>



東濃フロンティア高等学校（岐阜県土岐市）

教育目標：「一人一人の個性を大切にし、主体的に生きる人間の育成に努める」

平成16年4月に開校。「マイペースで自ら学ぶ」をモットーに、「一人一人の個性を大切にし、主体的に生きる人間の育成に努める」ことを目標にする。三部制・単位制の普通科高等学校で、その主な特徴は、HR（自分の教室）がない、進級・留年がない、校則がない、生徒手帳がないこと。「生徒が自分で考え、自分で調べ、自分で選択し、自分で決定する」、自己責任を原則とする。

1 開設学科

- ・普通科のみ
- ・生徒は、三部（Ⅱ部は前半と後半に分かれる）の時間帯のうち、自分の生活のペースに合わせて、学ぶ時間帯を選択。
- ・生徒は、「ゼミ」に所属し、
 - 進路に関する学習
 - 科目選択・登録のガイダンス
 - 生徒会活動や文化祭などの学校行事 等の活動を行う。

<時間割>

校時	Ⅰ部 (8:40～15:10)	Ⅱ部前半 (10:30～16:55)	(Ⅱ部後半) (13:05～19:30)	Ⅲ部 (15:15～21:10)
1				
2	3年で卒業可能 5, 6限を受けない場合は4年		※現在、所属者なし	
3				
4		3年で卒業可能 3, 4限を受けない場合は4年		
5				
6			3年で卒業可能 5, 6限を受けない場合は4年	
7				
8				3年で卒業可能 7, 8限を受けない場合は4年
9				
10				
11				
12				

※ 全生徒は、授業のほか「ゼミ」に所属。

2 特 徴

▪ 各部の特徴

○Ⅰ部：大学、短大などへの進学を目指し、得意科目中心に学力を伸ばしたい生徒向き。

○Ⅱ部：自分の興味・関心や進路希望に合わせて学習。マイペースで学習したい生徒向き。

○Ⅲ部：仕事と勉強を両立させて高校を卒業したい生徒向き。

▪ 生徒の大多数は、3年で卒業している(学校への聞き取り)。

▪ 教育相談室、スクールカウンセラー(週1回)を配置し、生徒の相談に対応。

▪ 生徒は、全員「ゼミ」に所属し、下記の2つを合わせて、週1回、連続で実施する2単位の授業を受ける。

(1)特別活動のうち「ホームルーム活動」

(2)「総合的な学習の時間」

(※ 毎年次履修し、卒業までに6単位以上履修しなければならない。)

<ゼミの実施状況>

区分	Ⅰ・Ⅱ部	Ⅲ部
実施時間 生徒人数	金曜5・6限	金曜9・10限
1年次	94名	44名
2年次	67名	17名
3年次	58名	24名